



厚生労働本省

厚生労働本省の庁舎は東京都千代田区霞が関の中央合同庁舎5号館です。ここでは、医療、年金、介護、雇用など幅広い行政分野の中枢機関として、人の生涯・ライフサイクル全般にわたる課題に取り組んでいます。



秋田労働局(秋田合同庁舎)

都道府県労働局

都道府県労働局は各都道府県ごとに設置されています。地域における総合労働行政機関として、労働条件の向上を目指す労働基準行政、職業紹介などを行う職業安定行政、労働者が性別により差別されることなく能力を発揮できる環境を整備する雇用均等行政の3つの行政分野を、地域に密着しながら総合的に運営しています。

労働基準監督署

労働基準監督署は、全国各地に所在し、労働者を雇っている会社が労働基準法を守っているか、常に指導・監督しています。また、労働者が安全に仕事を続けられるよう職場環境や健康面について会社を指導する安全衛生業務や仕事中にケガをした方に対する労災補償なども行っています。



高松労働基準監督署
(高松サポート合同庁舎)



ハローワーク八王子

ハローワーク

ハローワークは、全国各地に所在し、仕事を探している方への職業紹介業務、失業中の生活を支えるために給付を行う雇用保険業務などを行っています。また、「従業員を募集したい」会社と、「仕事に就きたい」人、お互いのニーズをマッチングさせていくこともハローワークの役割です。



本省の部署案内板

厚生労働本省は、26階建ての中央合同庁舎5号館のほぼ大半のフロアを占めており、それだけでも、行政の幅が広いことが伺えます。さまざまな部署がありますので、こうした案内版を確認して、部署を探すことになります。

検疫所

検疫所は全国の海空港に本所(13カ所)、支所(14カ所)、出張所(83カ所)があります。海外からの感染症の侵入を防ぐための検疫業務や、輸入食品の安全を確保するための監視業務を行っています。海外からの最前線で国民の生命と健康を守ることが検疫所の使命です。



東京検疫所(東京港湾合同庁舎)

地方厚生局

地方厚生局は、国民のより身近なところで国民生活の安全と安心の確保、福祉の向上、社会保障制度の維持・適正実施などを担う厚生行政の政策実施機関として設置されたブロック機関で、全国の7局1支局で構成されています。業務内容は、各種の衛生・福祉分野の許可業務、監視・監査業務、健康保険組合の監督業務、保険医療機関等の指導監査業務、年金関係事務、麻薬・覚せい剤の取締業務など、多岐にわたります。

関東信越厚生局(さいたま新都心合同庁舎1号館)



厚生労働省の職員が活躍する場所は全国各地、 たくさんの出会いがあなたを待っています

活躍する場所

厚生労働省の職員になったら、どこで働くことになるでしょうか。

厚生労働省の職員は、東京千代田区霞が関にある厚生労働本省、全国の都道府県に所在する労働局、労働基準監督署、ハローワーク、さらには全国8カ所の厚生(支)局、全国110カ所の検疫所などの機関で働いています。厚生労働省は、医療、年金、介護、雇用などとても幅広い業務を所管しているため、職員もさまざまな機関で働いています。これらの各機関が一体となつて、人の生涯・ライフサイクル全般にわたる課題に取り組んでいます。

このようにさまざまな機関があり、活躍する場所があるため、たくさんの出会いがあります。人との出会いは、自分とは全く異なる考え方との出会いにつながることもあるでしょう。さまざまな出会いを通じ、あなたはより多くの視点を身につけることができるはずです。

試験体系について

総合職試験(※)

主として政策の企画立案等の高度の知識、技術又は経験を必要とする業務に従事

(※) 総合職に準じる試験として、獣医系技術職員試験があります。

一般職試験

主として事務処理等の定型的な業務に従事

専門職試験

特定の行政分野に係る専門的な職種を対象

経験者採用試験

民間企業等経験を有する者を係長以上の職に採用

(注) 試験体系の詳細については、人事院のホームページ(<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)をご覧ください。

職員の服務の宣誓に関する政令(昭和四十一年政令第十四号)

(服務の宣誓)

第一条 新たに職員(非常勤職員(国家公務員法第八十一条の五第一項に規定する短時間勤務の官職を占める職員を除く。))及び臨時的職員を除く。以下同じ。)となつた者は、任命権者又はその指定する職員の面前において別記様式による宣誓書に署名して、任命権者に提出しなければならない。

別記様式

宣誓書

私は、国民全体の奉仕者として公共の利益のために勤務すべき責務を深く自覚し、日本国憲法を遵守し、並びに法令及び上司の職務上の命令に従い、不偏不党かつ公正に職務の遂行に当たることとをかく誓います。

平成 ○年 ○月 ○日

氏名 ○○ ○○

国家公務員の宣誓書

新たに職員となった際には、国家公務員としての宣誓を行います。国民全体の奉仕者として公務に従事することを決して忘れないでください。

厚生労働省のシンボルマーク

このシンボルマークは、国民(老若男女)の喜ぶ姿をモチーフとし、皆が手を取り合い、1つになって幸福を目指すという意味が込められています。二人の喜ぶ姿の間には幸せのハートの図も隠れています。また、厚生労働省は「現在だけでなく未来にわたって人や暮らしを守る」役割を担っていることから、「ひと、くらし、みらいのために」というキャッチフレーズをつくりました。このことばを支柱に、職員が一丸となり、国民にとってあるべき厚生労働行政を推進しています。



厚生労働省のシンボルマークをかたどった職員バッジ

厚生労働省でやりたいこと、働きたい場所などを考えて
職員になるための試験を受験してください

試験は
併願も可能です

国家公務員試験には、総合職試験、一般職試験など、様々な種類の試験区分があります。

厚生労働省の職員の採用については、**総合職試験**、**一般職試験**、**専門職試験**の合格者から採用を予定しています。どの試験から採用された場合でも、厚生労働省の職員となりますが、**合格した試験によって、担当する業務、勤務地、キャリアパスなどがそれぞれ異なります。**

あなたが、厚生労働省でやりたいこと、働きたい場所などを考えて、受験する試験を選択してください。これらの試験の日程はすべて異なるため、例えば、**総合職試験と一般職試験を併せて受験することもあります。**



人事院にある受験申込用紙

各試験の受験案内(受験申込用紙を含む)は、人事院地方事務局(所)に郵送での請求、または人事院に直接訪問して入手することができます。